

# サムライジャパン Men's Hero Asian Champions Trophy 2018

日付	2018年10月18日 18:55~		
場所	Sultan Qaboos Complex, Muscat	天候	曇りのち豪雨
試合	第7戦	通算結果	日本 2勝4敗1分

## RESULT

Country	0	-	0	Country
<b>Japan</b>	2	(	1 - 1)	<b>Malaysia</b>
			0 - 0	
			1 - 1	

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	1	山崎 晃嗣			
✓	2	田村 陸			
✓	4	三谷 元騎(C)			
✓	5	田中 世蓮	32		
✓	6	落合 大将			
	7	8			
✓	11	北里 謙治			
	7	16			
		19			
✓	20	大橋 雅貴			
✓	21	和久利 裕貴			
	7	22	27		
✓	25	山田 翔太			
	7	26			
	16	28			
✓	29	膳棚 大剛			
✓	30	吉川 貴史(GK)			
	5	32			
		霧下 義貴			
Coach	AIKMAN Siegfried				
Manager	山堀 貴彦				
UMPIRE	WRIGHT Peter (RSA)				

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
	2	HASSAN Najib			
5	3	SUMANTRI Norsyafiq			
4	6	JALIL Marhan			
4	9	van HUIZEN Joel			
✓	10	SAARI Faizal			
✓	11	CHOLAN Syed			
✓	12	MUTALIB Sukri(C)			
4	13	ASHARI Firhan			
✓	14	ARSHAD Amiroi			
✓	15	NOOR Nabil			
	16	SUBRAMIAM Kumar (GK)			
	18	JALI Faiz			
✓	19	HASSAN Azri			
✓	20	HASAN Azuan			
✓	23	TAJUDDIN Tengku			
✓	24	NIK ROZEMI Aiman			
✓	26	SAABAH Shahril			
✓	29	RAHMAN Hairi (GK)			
Coach	OLTMANS Roelant				
Manager	van HUIZEN Stephen				
UMPIRE	BALE Bruce (ENG)				

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	18	北里 謙治	FG	1-0
MAS	20	SAARI Faizal	PC	1-1
MAS	46	SAARI Faizal	FG	1-2
JPN	48	和久利 裕貴	FG	2-2

Team	Minute	Name	Action	Score

サムライジャパン、アジアチャンピオンズトロフィー第7戦・3位決定戦の相手はマレーシア。日本は5年前の各務原大会銀メダル以来のメダル獲得を目指す。

第1Q 日本はフルプレスでスタートし、マレーシアの出方をうかがう。マレーシアは怪我人も多く7試合目の疲れの為か、いつものようなFWの素早い動きが見られず日本のDFが冷静に対応する。日本もボールを奪うとハイボールに頼らずしっかりとボールを繋ぐがシュートにまで至らない。

第2Q 18分、右サイドを抜け出した北里がそのままサークルインして、豪快なヒットシュートを叩き込み、日本が先制する。しかし、その直後の20分、マレーシアは一瞬の隙についてパスをサークル内に通しPCを獲得。フリックシュートがゴール右中段に決まり、1-1の同点となる。

第3Q 運動量の落ちてきたマレーシアに対し、日本はしっかりとショートパスを繋いで攻勢に出る。左サイドからのクロスボールに右ポストに飛び込んできた山崎が合わせるが、惜しくも枠を逸れる。和久利が左サイドからサークルインしゴール前にボールを幾度も通すが、ボールをゴールに押し込み切れない。

第4Q チャンスを逃してきた日本に対し、マレーシアは開始早々の46分、左サイドからサークルインしてクロスボールを入れると、右ポストで待っていたFWがこれを押し込み2-1と勝ち越す。日本もその直後に反撃し、48分、和久利がサークルの左サイドからスイープシュートを叩き込み2-2の同点に追いつく。その後も日本は、和久利、星がシュートを放つがいずれもポストに当たり決められない。マレーシアもカウンターからPCを奪うがGK高野が落ち着いたセービングを見せ得点を与えない。そのまま試合は終了し、勝敗の行方はアジア大会決勝と同様にSO戦に持ち込まれる。

SO戦ではGK吉川がアジア大会と同様により動きを見せて2人を止めるが、日本はシュートがクロスバーやポストに次々に当たり、3人が外してしまう。3-2でマレーシアが勝利。日本は4位となる。

尚、決勝のインド対パキスタン戦はオマーンでは極めて珍しい豪雨の為に中止となり、両チーム優勝となった。

JPN	4	シュート数	1	MAS
	1	PC数	3	